

本技術士会は、平成21年12月の設立以降、9年6ヶ月余りの活動を継続し、今年で10回目の総会を迎えることができました。現在会員数は158名であり、技術士試験受験への支援を実施し、毎年、コンスタントに合格者を輩出しており、設立以降、30名を超える技術士が誕生しています。母校への支援として「技術者キャリア形成」等の懇談会を実施し、次世代を担う技術者への支援活動を行っています。今年度は30名以上の会員に出席して頂き、総会を無事に終えることができましたので報告いたします。

1. 総会 (at 中央電気倶楽部 215 号室)

第 9 期(2018. 3. 1～2019. 3. 31)事業報告

決算報告および監査報告

第 10 期事業計画(案)および予算(案)

第 10 期役員人事

以上、4 議題のご審議をいただき、出席者全員のご賛同を得、無事終えることができました。

本年度も引き続き幹事及び監事が責務を果たすため、幹事を 20 名から 30 名に増やし、当会の事業活動に取り組んでいきます。

2. 特別講演 (at 中央電気倶楽部 215 号室)

今年は講師の方々より、貴重な御講話を頂きました。

I. 「チェルノブイリ原子力発電所および 30km 退避ゾーン内の現状」

エコ京都代表、滋賀県立大学非常勤講師

池北 實 様



チェルノブイリ原発事故から30年以上が経過し、原発30km退避ゾーン内の現状を、映像を交えながら解説して頂きました。本事故は国際原子力事象評価尺において最悪のレベル7(深刻な事故)に分類され、世界最大の原発事故でした。ゾーン内での放射線安全対策、廃墟となった町の様子が映し出され、普段は目にすることのない、貴重な映像を見せて頂きました。

Ⅱ. 「紫外線を用いた水処理技術の現況と今後の展望」

立命館大学理工学部環境都市工学科

教授 神子直之 様



水処理方法のひとつとして、紫外線を使った研究内容について紹介して頂きました。今後の課題として、水道における紫外線照射適用範囲の拡大や水道以外における紫外線消毒の導入等、新規光源に関するの貴重な講義を頂きました。

3. 懇親会

同会場にて懇親会が開かれました。大技連総会や日本技術士会イベント参加、他大学との連携等についての近況報告が行われました。本技術士会を通じて知り合った方々、世代を越えたOBやOGは、仕事や学生時代の話などで大いに満喫され、技術士としての結束を固め、本会の発展を願って一本締めで幕を閉じました。



=以上=